

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2012年7月12日
JAM熟練技能継承推進室

指導職種を拡大して展開中

～溶接や電子機器組立、企業への機械製図指導も～

平成24年度のJAM熟練技能継承事業では、指導職種（作業）を、昨年の8職種に対して11職種と拡大して展開している。新たに加わったのは、高等学校に対する「溶接」「電子機器組立」と、中小企業に対する「機械・プラント製図」である。

現在指導している11職種とは、①普通旋盤、②フライス盤、③鋳造、④機械検査、⑤シーケンス制御、⑥溶接、⑦電子機器組立、⑧円筒研削盤、⑨機械組立仕上げ、⑩機械・プラント製図、⑪機械研削砥石である。

JAM熟練技能継承推進室では、高校や企業の技能検定資格取得へ向けた指導の希望に対して、それが可能となるよう指導者の確保に努めているが、指導を受けたい学校や企業の地域や指導職種の内容によっては指導者（熟練技能者）が見つかりにくい場合もあり、地方JAMの協力を得ながら協力いただける熟練技能者を探している状況である。

現在、群馬県の中小企業から「溶接」を、静岡県企業から「マシニングセンター」を、それぞれ指導を受けたいとの問い合わせが入っている。



＜岐阜工業高校での「溶接」の指導風景＞



＜溶接の指導者は高度熟練技能者の岩佐氏＞



＜大垣工業高校で「電子機器組立」の

基板配線の出来具合を指導する平林氏＞